

いずみ

令和5年度 6月号
図書委員会 2年1組
炭谷優 伊藤花奏



6月に入りました。「晴耕雨読」という言葉があるように、降る雨の音に耳を傾けながら、ゆったりとした気持ちで読書するのもよいものです。この機会に図書館に足を運んで本を選んでみませんか。新着図書もあります。是非のぞきにきてください。



2023年本屋大賞決定！

★大賞★ 『汝、星のごとく』 凧良ゆう／講談社



その愛は、あまりにも切ない。正しさに縛られ、愛に呪われ、それでもわたしたちは生きていく。本屋大賞受賞作『流浪の月』著者の、心に奥深く響く最高傑作！

——わたしは愛する男のために人生を誤りたい。

風光明媚な瀬戸内の島に育った高校生の暁海と、自由奔放な母の恋愛に振り回され島に転校してきた權。

ともに心に孤独と欠落を抱えた二人は、惹かれ合い、すれ違い、そして成長していく。生きることの自由さと不自由さを描き続けてきた著者が紡ぐ、ひとつではない愛の物語。

——まともな人間なんてものは幻想だ。俺たちは自らを生きるしかない。

～また、他のノミネート作品の順位はこのようになりました～

- | | | |
|-----|---------------|------------|
| 2位 | 『ラブカは静かに弓を持つ』 | 安壇美緒／集英社 |
| 3位 | 『光のところにいてね』 | 一穂ミチ／文藝春秋 |
| 4位 | 『爆弾』 | 呉勝浩／講談社 |
| 5位 | 『月の立つ林で』 | 青山美智子／ポプラ社 |
| 6位 | 『君のクイズ』 | 小川哲／朝日新聞出版 |
| 7位 | 『方舟』 | 夕木春央／講談社 |
| 8位 | 『宙ごはん』 | 町田そのこ／小学館 |
| 9位 | 『川のほとりに立つ者は』 | 寺地はるな／双葉社 |
| 10位 | 『#真相をお話します』 | 結城真一郎／新潮社 |

是非読んでみてね！



《翻訳小説部門》

- | | | |
|----|--------------|----------------|
| 1位 | 『われら闇より天を見る』 | クリス・ウィタカー／早川書房 |
| 2位 | 『プリズム』 | ソン・ウォンピョン／祥伝社 |

《発掘部門》「超発掘本!!」

- | | | |
|---------|------|-----------|
| 『おちくぼ姫』 | 角川文庫 | 田辺聖子／角川書店 |
|---------|------|-----------|



～教育実習生おススメの本～



◆『英雄の書』 著:宮部みゆき

この本はSF・ファンタジー小説ですが、気づかされることが多い本です。「英雄」と聞くと「善」であるようなイメージをする方が多いと思いますが、本当にそうなのか? 「善」と「悪」を瞬時に判断できるのか? と考えさせられる物語になっています。
(小倉澤 地歴)

◆『砂糖の世界史』 著:川北稔

「砂糖」という身近な商品を軸に世界のつながりを解き明かしていく本。様々な事柄をつなげて理解していくという世界史の面白さが味わえるのではないかと思います。世界史好きの人はもちろん、苦手な人にもぜひ読んでもらいたいです。
(越智愛実 地歴)

◆『AI VS 教科書が読めない子どもたち』 著:新井紀子

私が教師になりたいと思うきっかけになった本です。AIの人工知能がどんどん高くなっているのに対し、現代の若者は本を読まない人が多いので読解力が下がっている。このままではいけない…。そんな不安を持ち、教師という仕事に就こうと思いました。本が嫌いな人にこそ、この本を読んでもらいたいです。
(白方憲伸 化学)

◆『あの頃、君を追いかけた』 著:九把刀(ギデンス・コー)

小説を読み始めるきっかけになった本です。恋愛だと登場人物の気持ちにとっても興味がわくと思います。この気持ちを知ろうとする力は、文章を読み解く力につながります。実際少し点数も上がりました。この本は、どの本よりも恋愛の勉強になります。国語の点数を上げる“ついで”に恋愛についても学んでみましょう。
(山本健太 地学)

◆『神モチベーション』 著:星渉

「モチベーションは続かない」この概念を覆してくれました。やらなければならないのに、やる気が起きない。そんな人にお薦めです。
(北川陽世 体育)

◆『桜のような僕の恋人』 著:宇山佳佑

登場人物の気持ちに入り込んで読んでみてください。読解力も恋愛する力も手に入ります。みなさん、すてきな高校生活を送ってください。
(三上花菜 体育)



《図書委員おススメの本》 part2



書名	作者名	お薦めの理由	図書委員会	
ころ	夏目漱石	先生とKの心の距離がふすまによって表されていて、先生とKの友達をとるか、恋人をとるか心の迷いがとても読んでいて面白いです。	304	角藤明生
1%の努力	西村ひろゆき	この本は最小限の努力で結果を出す方法が学べてとても人生の糧になります。	304	岡崎怜真
夢をかなえるゾウ	水野敬也	何をやっても続かず成功しない“僕”のもとにゾウの姿をして何故か関西弁で話す、とてつもなく胡散臭い“ガネーシャ”という神様がやって来る話です。しかし、その神様の教えは「靴を磨く」とか「コンビニで募金をする」といった地味なことばかり…その教えを疑いながらも実践していく“僕”の成長が読んでいてとても面白いです。	305	橋野莉和
元彼の遺言状	新川帆立	2021年の「このミステリーがすごい!」大賞に選ばれ、綾瀬はるかさん主演でドラマ化もされた作品です。弁護士である主人公が元彼からの遺言状をきっかけに「お金のために」事件を解決しようとする変わったストーリーで、予想外の展開に驚いたり、主人公の強気な行動に笑ったりとミステリーを普段あまり読まない人でも楽しめる本です。ドラマと少し内容も違っているので、ドラマを見た人もぜひ読んでみてください。	305	原田侑奈
52ヘルツのクジラたち	瀬尾まいこ	虐待によって、うまく言葉が話せないムシがだんだん口を開いて話すようになり、自分の気持ちが伝えられるようになってところがお薦めです。虐待について考えさせられる一冊。	306	大澤有輝
毒物図鑑	クラレ	日常に潜む毒物をわかりやすくキャラクターに変えイラスト付きで分かりやすくユーモラスに解説している。文理に関係なく興味を持って楽しむことができる。	306	尾形駿吾